

## 留学生の円滑な入国に当たって（留意事項）【2月21日時点】

3月1日以降の水際対策について、一定の条件により外国人の新規入国が再開されることとなりました。

これは受入責任者の管理の下で入国が認められるものであり、大学等が責任を持って各留学生の情報を把握し、入国に当たってオンラインで申請する必要があることに留意してください。

### 入国前

#### ☐：旅券（パスポート）は有効期限内か

※有効期限が不足する場合は、留学生に再取得を促す必要があります。

#### ☐：在留資格認定証明書（COE）は有効期限内か

※2020年1月1日以降に作成されたCOEについては、以下の期間、特段の手続なく有効とみなす扱いとなっています。

- ・作成日が2020年1月1日～2021年10月31日→2022年4月30日まで  
（4月30日を超える場合は出入国在留管理庁に再申請を行ってください。）
- ・作成日が2021年11月1日～2022年4月30日→作成日から「6か月間」有効

【参考】新型コロナウイルス感染症に関する外国人の在留諸申請について－在留資格認定証明書交付申請の取扱い

[https://www.moj.go.jp/isa/nyuukokukanri01\\_00155\\_1.html](https://www.moj.go.jp/isa/nyuukokukanri01_00155_1.html)

#### ☐：査証（ビザ）は有効期限内か

※留学生が既に何らかの査証を取得している場合でも、査証には有効期間（3か月）がありますので、よく確認してください。

#### ☐：人定事項等の基本情報は整理してあるか

※入国に関するオンライン申請等の手続が円滑に進むよう、対象者の人定事項等の基本情報（氏名（旅券上の表記）、生年月日、旅券番号、入国前滞在国・地域、待機場所（自宅等待機施設）、日本での滞在期間、査証発給予定在外公館等）をあらかじめ整理しておくことが望まれます。

#### ☐：希望者は新型コロナワクチンを3回接種しているか

※新型コロナワクチンを3回接種している者は、非指定国・地域からの入国の場合は自宅等待機免除となる等、より待機期間の短縮等が図られることから、ワクチン接種を希望する留学生に対しては、あらかじめ積極的な接種を促すことも有益です。なお、従来、有効なワクチンは日本国内で承認されていたものに限られていたこと等に注意してください。

【参考】海外から日本への入国に際し有効と認めるワクチン接種証明書について

[https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/certificate\\_to\\_Japan.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/certificate_to_Japan.html)

## **入国後**

### **□：防疫体制は準備できているか**

※新たな水際措置は、大学等の受入責任者による原則7日間の管理の下で外国人留学生の入国が認められるものです。大学等が責任をもって万全の防疫体制（入国後の待機場所等）を構築し、外国人留学生に行動制限や防疫措置を徹底していただくようお願いいたします。

### **□：検査体制は用意してあるか**

※入国後の待機期間は7日間ですが、3日目検査で陰性が確認された場合はそれ以降の待機が不要となることから、大学等において迅速な検査体制を構築しておくことが望まれます。

以上、現時点の情報に基づき必要と考えられる事項をお知らせしておりますが、追って新たな措置の詳細が決定次第、再度御連絡します。